資料５

荷　主 と 運送事業者 の協力による

取引環境と長時間労働の改善に向けた ガイドライン

事　例　集

厚生労働省 労働基準局 労働条件政策課
国土交通省 自動車局 貨物課
公益社団法人 全日本トラック協会

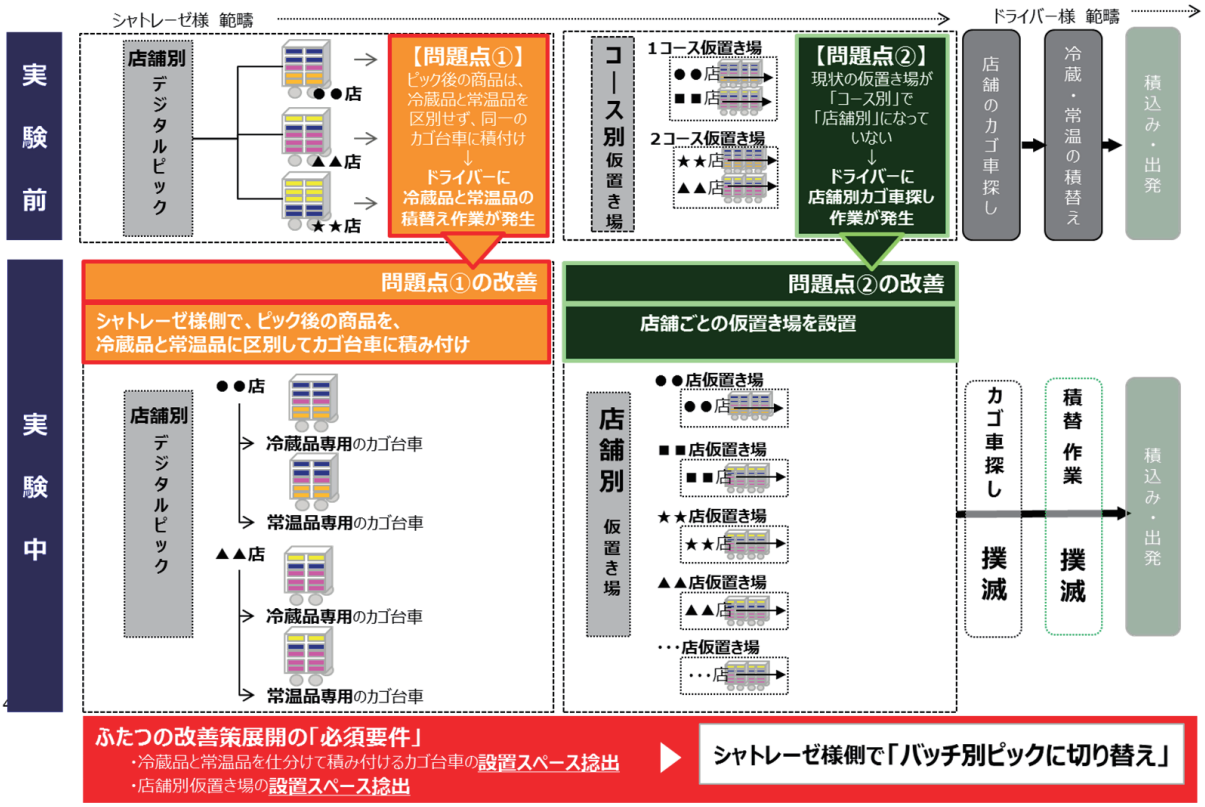
品目分類	取扱貨物	取組内容	県	取組年度	ページ
04_軽工業品					
	食料品				
		・積込み時間の指定による待機時間削減と着拠点の集約（長期保存不可）	岩手県	29	102
		・「パレット輸送（荷積み・荷降ろし時間の削減）」、「積み込み時間の厳守」、「製品の上がり待ちの事前連絡及び接車時間の連絡等」、「着荷主への荷降ろし時間の前倒し」、「荷積み（帰り荷）待機時間の削減」による、ドライバー拘束時間の削減（加工食品）	宮城県	29	104
		・1ヵ所積の推進による拘束時間の削減（長期保存可）	山形県	29	106
		・入荷専用バースと取り下ろし体制の改善による手待ちの削減（長期保存可）	栃木県	28	108
		・ピッキング・検品体制の見直しによる積込時間の短縮（長期保存不可）	千葉県	28	110
		・中継輸送の実施による労働負荷の軽減（長期保存可）	東京都	29	112
		・１台１人ピッキング＋中間ストアによるピッキング時間（ピッキング完了待ち）の短縮（長期保存可）	新潟県	28	114
		・荷主と連携した作業分担変更によるドライバー作業軽減の事例（長期保存不可）	石川県	29	116
		・一貫パレチゼーションと受付予約で着荷主滞在時間を短縮（長期保存可）	山梨県	28	118
		・荷主の作業見直しによるドライバー作業時間削減（長期保存不可）	山梨県	29	120
		・トラック便の手待ち時間と積込み時間の削減（長期保存可）	長野県	28	122
		・納品日当日に積卸しする運行への変更による生産性の向上（長期保存可）	長野県	29	124
		・高速道路使用による運転時間の削減（冷凍冷蔵食品）	岐阜県	28	126
		・貨物積込工程の段取り改善によるドライバー作業時間の短縮（長期保存不可）	愛知県	29	128
		・高速道路の適正利用運行と積込み作業体制の強化（長期保存可）	三重県	28	130
		・物流拠点統合と半量パレット積みによる集荷時間の削減（長期保存可）	三重県	29	132
		・自動配車システムによる現行配車組の最適化再検証（長期保存可）	大阪府	28	134
		・カゴ車を用いた店舗納品の改善（長期保存混在）	大阪府	29	136
		・作業時間の短縮等による拘束時間の削減	鳥取県	28	138
		・配車の工夫や作業時間の短縮等による拘束時間の削減（長期保存不可）	鳥取県	29	140
		・在庫型倉庫設置による積込場所の分散化、倉庫機能の強化（長期保存可）	広島県	29	142
		・「検査待ち」情報の早期共有化による待機時間削減の取組（不明）	香川県	28	144
		・発注量平準化による取扱ＳＫＵの削減による附帯作業時間の短縮化（長期保存可）	高知県	28	146
		・集荷と幹線輸送のドライバー分離による拘束時間削減（冷凍冷蔵食品）	佐賀県	28	148

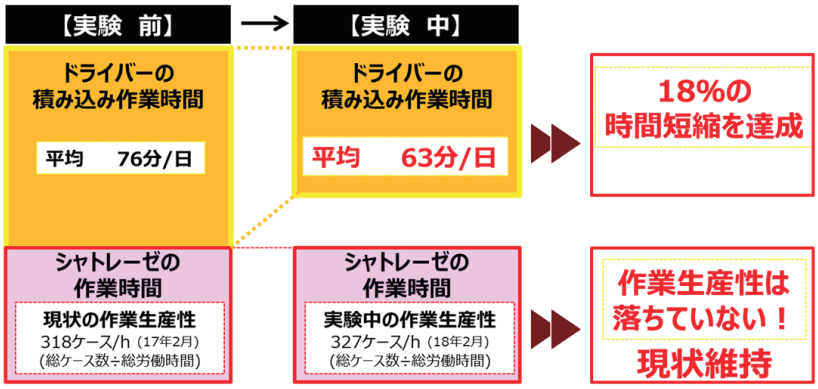
荷主の作業見直しによるドライバー作業時間削減　山梨県

1. 実施者の概要

- 荷主企業：㈱シャトレーゼ
  食品の製造・販売
- 運送事業者：㈱マルエスフリージングジャンクション
  山梨に本社。関東甲信エリアのシャトレーゼ店舗への配送を担っている1社。
- 荷種
  洋菓子、和菓子、アイスクリーム、パン、飲料等

2. 事業概要





3. 課題

①デジタルピック後の商品は、シャトレーゼで冷蔵品と常温品を区別せず、同一のカゴ台車に積付けているため、ドライバーに冷蔵品と常温品の積替え作業が発生
②現状の仮置き場が「コース別」で「店舗別」になっていないため、ドライバーに店舗別カゴ台車の探し作業が発生。

■■ この様な事態に陥っている真因 ■■

冷蔵品と常温品を区別して積み付けるカゴ台車設置スペースがない。
店舗別のカゴ台車を設置するスペースがない。

4. 事業内容

真因を解決　：　シャトレーゼにて、バッチ別ピッキングに切り替える事でスペースを捻出。

①デジタルビッキングは遠方順に実施。関東方面と比較し、ビッキングが早く終了している大阪方面のピッキング後商品の仮置き場を、関東方面の仮置き場に「バッチ切替え」。
冷蔵品と常温品を区別して積み付けできるカゴ台車設置スペースを確保。
②ピッキング後商品の仮置き場は、既に店舗別となっている事から、 新たに店舗別仮置き場を設置せず、ドライバー積込み時の仮置き場をそのまま活用。
但し、ドライバーの動線を考慮し、積込みバースは、仮置き場に最も近いバースに変更。

5. 結果

①「作業時間」が、18%削減。
実験前平均時間：76分　　実験中作業時間：63分

6. 荷主企業のメリット

①工場のスペース不足は以前より認識。
今回の改善策が、スペース不足解消策として有効である事を、定性的、かつ定数的に裏付けがとれた。
②ドライバー作業時間短縮は作業負荷軽減にも繋がる。
作業負荷軽減で、ドライバー不足解消にも繋がれば、輸送サービスの安定的確保にも繋がる。

7. 結果に結びついたポイント

①シャトレーゼは、運送事業者を「パートナー」と認識。 共に汗をかく事に躊躇しない。
②マルエスフリージングジャンクションも、以前から、シャトレーゼに対し様々な改善提案を実施。 共に改善に取り組む「パートナー」としてシャトレーゼを認識。